

別紙

新規格柔道衣（コントロール面・規格面）の説明

1 コントロール面

- 袖は、柔道衣コントロールを受ける時の高さまで上げた時、手首を含め柔道衣に覆われていなければならない。（下記の図 1 参照）

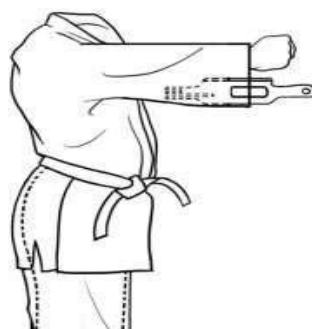


図 1

- 胸骨の一番上から襟の重なりあう部分まで垂直で 10 cm未満でなくてはならない。（下記の図 2 の矢印の部分が 10cm 未満）
- 上衣の併せ目で下襟の長さが、水平で少なくとも 20cm なくてはならない。（下記の図 3 の矢印の部分が最小 20cm）



図 2 拡大



図 3

2 規格面

柔道衣の素材と襟の幅が変更になる。

- 上衣の 1 m²あたりの重量は、現行の 700g～1,000g から 650g～750g に変更となる。
- 襟幅は最大 4 cmとする。また襟は、4 筋縫いであること。
- 襟は簡単に垂直方向に折り曲げることができる。